NOMURA

ウィークリーレポート

野村ブル・ベア　セレクト9
「米国株スーパーブル9」「米国株スーパーベア9」

2025年7月18日
（週次改訂）

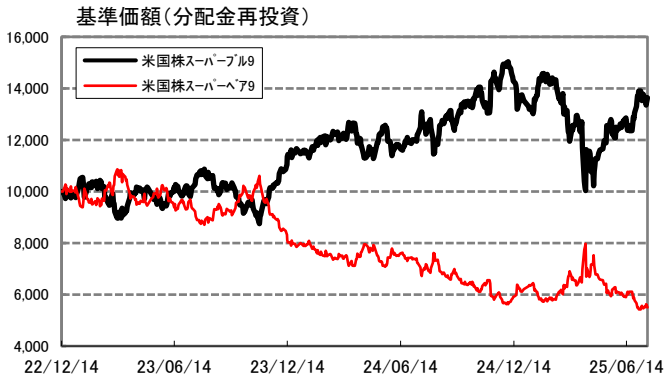
追加型投信／海外／株式／特殊型（ブル・ベア型）

運用実績

2025年7月18日 現在

運用実績の推移

（設定日前日＝10,000として指数化：日次）



・上記の指数化した基準価額（分配金再投資）の推移および下記の前日比騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものとして計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

基準価額※	
米国株スーパーブル9	13,640 円
米国株スーパーベア9	5,506 円

※分配金控除後

純資産総額	
米国株スーパーブル9	12.2 億円
米国株スーパーベア9	4.2 億円

●信託設定日 2022年12月15日
●信託期間　2026年1月16日まで
●決算日　原則 1月16日
（同日が休業日の場合は翌営業日）

分配金（1口当たり、課税前）の推移		
	2025年1月	2024年1月
米国株スーパーブル9	0 円	0 円
米国株スーパーベア9	0 円	0 円

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※ファンドの分配金は投資信託説明書（交付目論見書）記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行なわない場合もあります。

基準価額および参考指標の推移（基準日を含む直近1週間分）

基準価額及び先物価格

日付	7月14日	7月15日	7月16日	7月17日	7月18日
米国株スーパーブル9	13,579 円	13,633 円	13,357 円	13,483 円	13,640 円
ﾆｭｰﾖｰｸﾀﾞｳ先物（9月限）※	44,599	44,692	44,247	44,459	44,718
米国株スーパーベア9	5,538 円	5,513 円	5,625 円	5,571 円	5,506 円

※休場日の場合は、参考として前営業日の値を記載しています。

前日比騰落率

日付	7月14日	7月15日	7月16日	7月17日	7月18日
米国株スーパーブル9	−1.4%	0.4%	−2.0%	0.9%	1.2%
ﾆｭｰﾖｰｸﾀﾞｳ先物（9月限）	−0.7%	0.2%	−1.0%	0.5%	0.6%
米国株スーパーベア9	1.4%	−0.5%	2.0%	−1.0%	−1.2%

純資産総額の推移

日付	7月14日	7月15日	7月16日	7月17日	7月18日
米国株スーパーブル9	11.9 億円	12.2 億円	11.9 億円	12.0 億円	12.2 億円
米国株スーパーベア9	4.2 億円	4.2 億円	4.3 億円	4.3 億円	4.2 億円

＊ニューヨークダウ先物の価格及びその前日比騰落率は、基準価額の算出基準に合わせて計算日の直近の価格及びその前日比騰落率を表示しております。ニューヨークダウ先物は、US ドル価格を表示しています。
・上記の前日比騰落率は、分配金（非課税）を考慮して計算しております。

◇ 基準価額の値動きについての留意点

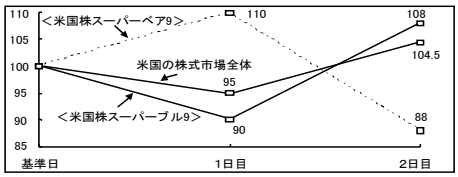
「米国株スーパーブル9」は、日々の基準価額の値動きが株式市場全体の値動きの「概ね2倍程度」、「米国株スーパーベア9」は、日々の基準価額の値動きが株式市場全体の値動きの「概ね2倍程度反対」となることを目指して運用を行ないます。従って、たとえ正確に運用目標が達成されたとしても、**2日以上離れた日との比較においては、「概ね2倍程度」および「概ね2倍程度反対」とはなりません**ので、十分ご留意ください。
また、上記の理由から、**「米国株スーパーブル9」および「米国株スーパーベア9」は一般的に中長期の投資には向かず、比較的短期間の市況の値動きを捉えるための投資に向いている金融商品です。**

<例1> 日々の値動き

	1日目	2日目
米国の株式市場全体	−5%	+10%
米国株スーパーブル9	−10%	+20%
米国株スーパーベア9	+10%	−20%

基準日からの値動き

	1日目	2日目
米国の株式市場全体	−5%	+4.5%
米国株スーパーブル9	−10%	+8%
米国株スーパーベア9	+10%	−12%



左の図表（〈例1〉）のように、株式市場全体が1日目に5%下落、2日目に10%上昇した場合、運用目標が完全に達成されれば、「米国株スーパーブル9」は10%下落、20%上昇、「米国株スーパーベア9」は10%上昇、20%下落というようにそれぞれ推移します。
これを、基準日から2日目までの値動きでみると、株式市場全体は4.5%上昇、「米国株スーパーブル9」は8%上昇、「米国株スーパーベア9」は12%下落となり、「概ね2倍程度」および「概ね2倍程度反対」とはなりません。

（※以上の例は日々において正確に運用目標が達成された場合を前提としています。）

※この例示は、株式市場全体の値動きと基準価額の値動きの関係を説明するための計算例であり、実際の値動きを示したものではありません。
また、実際のファンドでは、信託報酬等のコスト負担や、設定・解約の影響などにより、運用目標が完全に達成されるとは限りません。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します（外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。）ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は　野村アセットマネジメント

商号　野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第373号
一般社団法人投資信託協会会員／一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

NOMURA

ウィークリーレポート

野村ブル・ベア　セレクト9
「米国国債4倍ブル9」「米国国債4倍ベア9」

追加型投信／海外／債券／特殊型（ブル・ベア型）

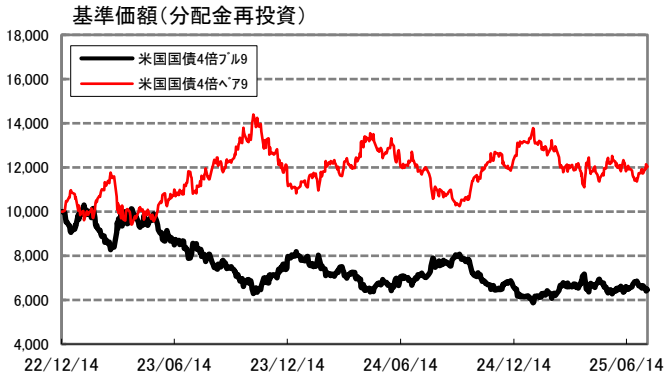
2025年7月18日
（週次改訂）

運用実績

2025年7月18日 現在

運用実績の推移

（設定日前日＝10,000として指数化：日次）



・上記の指数化した基準価額（分配金再投資）の推移および下記の前日比騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものとして計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

基準価額※	
米国国債4倍ブル9	6,459 円
米国国債4倍ベア9	12,038 円

※分配金控除後

純資産総額	
米国国債4倍ブル9	15.6 億円
米国国債4倍ベア9	2.8 億円

●信託設定日 2022年12月15日
●信託期間　2026年1月16日まで
●決算日　原則 1月16日
（同日が休業日の場合は翌営業日）

分配金（1口当たり、課税前）の推移		
	2025年1月	2024年1月
米国国債4倍ブル9	0 円	0 円
米国国債4倍ベア9	0 円	0 円

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※ファンドの分配金は投資信託説明書（交付目論見書）記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行なわない場合もあります。

基準価額および参考指標の推移（基準日を含む直近1週間分）

基準価額及び先物価格

日付	7月14日	7月15日	7月16日	7月17日	7月18日
米国国債4倍ブル9	6,509 円	6,520 円	6,404 円	6,485 円	6,459 円
米国10年国債先物（9月限）※	110.72	110.77	110.28	110.63	110.52
米国国債4倍ベア9	11,950 円	11,930 円	12,140 円	11,991 円	12,038 円

※休場日の場合は、参考として前営業日の値を記載しています。

前日比騰落率

日付	7月14日	7月15日	7月16日	7月17日	7月18日
米国国債4倍ブル9	−1.8%	0.2%	−1.8%	1.3%	−0.4%
米国10年国債先物（9月限）	−0.4%	0.0%	−0.4%	0.3%	−0.1%
米国国債4倍ベア9	1.8%	−0.2%	1.8%	−1.2%	0.4%

純資産総額の推移

日付	7月14日	7月15日	7月16日	7月17日	7月18日
米国国債4倍ブル9	15.7 億円	15.7 億円	15.5 億円	15.7 億円	15.6 億円
米国国債4倍ベア9	2.8 億円	2.8 億円	2.8 億円	2.8 億円	2.8 億円

＊米国10年国債先物の価格及びその前日比騰落率は、基準価額の算出基準に合わせて計算日の直近の価格及びその前日比騰落率を表示しております。米国10年国債先物は、US ドル価格で小数点第3位を四捨五入して表示しています。
・上記の前日比騰落率は、分配金（非課税）を考慮して計算しております。

◇ 基準価額の値動きについての留意点

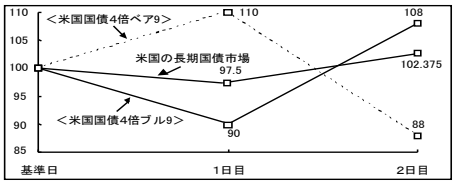
「米国国債4倍ブル9」は、日々の基準価額の値動きが長期国債市場の値動きの「概ね4倍程度」、「米国国債4倍ベア9」は、日々の基準価額の値動きが長期国債市場の値動きの「概ね4倍程度反対」となることを目指して運用を行ないます。従って、たとえ正確に運用目標が達成されたとしても、**2日以上離れた日との比較においては、「概ね4倍程度」および「概ね4倍程度反対」とはなりません**ので、十分ご留意ください。
また、上記の理由から、**「米国国債4倍ブル9」および「米国国債4倍ベア9」は一般的に中長期の投資には向かず、比較的短期間の市況の値動きを捉えるための投資に向いている金融商品です。**

＜例2＞ 日々の値動き

	1日目	2日目
米国の長期国債市場	−2.5%	+5%
米国国債4倍ブル9	−10%	+20%
米国国債4倍ベア9	+10%	−20%

基準日からの値動き

	1日目	2日目
米国の長期国債市場	−2.5%	+2.375%
米国国債4倍ブル9	−10%	+8%
米国国債4倍ベア9	+10%	−12%



左の図表（＜例2＞）のように、長期国債市場が1日目に2.5%下落、2日目に5%上昇した場合、運用目標が完全に達成されれば、「米国国債4倍ブル9」は10%下落、20%上昇、「米国国債4倍ベア9」は10%上昇、20%下落というようにそれぞれ推移します。
これを、基準日から2日目までの値動きでみると、長期国債市場は2.375%上昇、「米国国債4倍ブル9」は8%上昇、「米国国債4倍ベア9」は12%下落となり、「概ね4倍程度」および「概ね4倍程度反対」とはなりません。

（※以上の例は日々において正確に運用目標が達成された場合を前提としています。）

※この例示は、長期国債市場の値動きと基準価額の値動きの関係を説明するための計算例であり、実際の値動きを示したものではありません。
また、実際のファンドでは、信託報酬等のコスト負担や、設定・解約の影響などにより、運用目標が完全に達成されるとは限りません。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します（外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。）ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は　野村アセットマネジメント

商号　野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第373号
一般社団法人投資信託協会会員／一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

NOMURA

ウィークリーレポート

野村ブル・ベア　セレクト9
「円安ドル高トレンド9」「円高ドル安トレンド9」

2025年7月18日
（週次改訂）

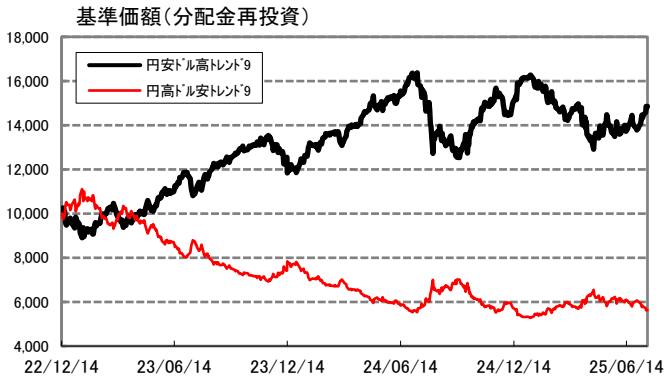
追加型投信／海外／その他資産（通貨）／特殊型（ブル・ベア型）

運用実績

2025年7月18日 現在

運用実績の推移

（設定日前日＝10,000として指数化：日次）



・上記の指数化した基準価額（分配金再投資）の推移および下記の前日比騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものとして計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

基準価額※	
円安ドル高トレンド9	14,855 円
円高ドル安トレンド9	5,614 円

※分配金控除後

純資産総額	
円安ドル高トレンド9	2.6 億円
円高ドル安トレンド9	21.1 億円

●信託設定日 2022年12月15日
●信託期間　2026年1月16日まで
●決算日　原則 1月16日
（同日が休業日の場合は翌営業日）

分配金（1口当たり、課税前）の推移		
	2025年1月	2024年1月
円安ドル高トレンド9	0 円	0 円
円高ドル安トレンド9	0 円	0 円

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※ファンドの分配金は投資信託説明書（交付目論見書）記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行なわない場合もあります。

基準価額および参考指標の推移（基準日を含む直近1週間分）

基準価額及び為替レート

日付	7月14日	7月15日	7月16日	7月17日	7月18日
円安ドル高トレンド9	14,554 円	14,593 円	14,847 円	14,792 円	14,855 円
円／ドル直物為替＊	147.36 円	147.58 円	148.82 円	148.49 円	148.77 円
円高ドル安トレンド9	5,732 円	5,717 円	5,617 円	5,638 円	5,614 円

前日比騰落率

日付	7月14日	7月15日	7月16日	7月17日	7月18日
円安ドル高トレンド9	0.7%	0.3%	1.7%	−0.4%	0.4%
円／ドル直物為替＊	0.3%	0.1%	0.8%	−0.2%	0.2%
円高ドル安トレンド9	−0.7%	−0.3%	−1.7%	0.4%	−0.4%

＊円から見た米国ドルの値動きは、円／ドル直物為替（FactSet等が発表する15:00近辺の為替レート）を表示しております。一方、「円安ドル高トレンド9」「円高ドル安トレンド9」の基準価額は、選択権付き為替予約取引の値動きを反映したものとなります。したがって、選択権付き為替予約取引の値動きと円から見た米国ドルの値動きが一致しない場合、基準価額の前日比騰落率の表示は、「概ね2倍程度」および「概ね2倍程度反対」とはならない場合があります。

純資産総額の推移

日付	7月14日	7月15日	7月16日	7月17日	7月18日
円安ドル高トレンド9	2.9 億円	2.9 億円	2.8 億円	2.6 億円	2.6 億円
円高ドル安トレンド9	22.5 億円	21.7 億円	21.4 億円	21.2 億円	21.1 億円

・上記の前日比騰落率は、分配金（非課税）を考慮して計算しております。

◇ 基準価額の値動きについての留意点

「円安ドル高トレンド9」（「円安ファンド」といいます。）は、日々の基準価額の値動きが、円から見た対象通貨※の値動きの「概ね2倍程度」、「円高ドル安トレンド9」（「円高ファンド」といいます。）は、日々の基準価額の値動きが、円から見た対象通貨※の値動きの「概ね2倍程度反対」となる投資成果を目指して各々運用を行ないます。従って、たとえ正確に運用目標が達成されたとしても、**2日以上離れた日との比較においては、「概ね2倍程度」および「概ね2倍程度反対」とはなりません**ので、十分ご留意ください。
また、上記の理由から、**「円安ファンド」および「円高ファンド」は一般的に中長期の投資には向かず、比較的短期間の市況の値動きを捉えるための投資に向いている金融商品です。**

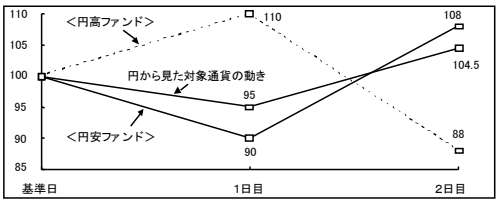
※対象通貨は、米国ドルです。

〈例3〉　日々の値動き

	1日目	2日目
円から見た対象通貨の動き	−5%	+10%
円安ファンド	−10%	+20%
円高ファンド	+10%	−20%

基準日からの値動き

	1日目	2日目
円から見た対象通貨の動き	−5%	+4.5%
円安ファンド	−10%	+8%
円高ファンド	+10%	−12%



（※以上の例は日々において正確に運用目標が達成された場合を前提としています。）

左の図表（〈例3〉）のように、円から見た対象通貨が1日目に5%下落、2日目に10%上昇した場合、運用目標が完全に達成されれば、「円安ファンド」の基準価額は10%下落、20%上昇、「円高ファンド」の基準価額は10%上昇、20%下落というようにそれぞれ推移します。これを、基準日から2日目までの値動きでみると、円から見た対象通貨は4.5%の上昇であるのに対し、「円安ファンド」は8%の上昇、「円高ファンド」は12%の下落となり、概ね2倍程度および概ね2倍程度反対とはなりません。

※この例示は、円から見た対象通貨の値動きと「円安ファンド」、「円高ファンド」の各々の基準価額の値動きの関係を説明するための計算例であり、実際の値動きを示したものではありません。
また、実際のファンドでは、信託報酬等のコスト負担や、設定・解約の影響などにより、運用目標が完全に達成されるとは限りません。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します（外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。）ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は　野村アセットマネジメント

商号　野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第373号
一般社団法人投資信託協会会員／一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

NOMURA

ウィークリーレポート

野村ブル・ベア　セレクト9

追加型投信

2025年7月18日
（週次改訂）

ファンドの特色

●「野村ブル・ベア セレクト9」は、7本のスイッチング可能なファンドから構成されています。

【米国株スーパーブル9】【米国株スーパーベア9】
円建ての短期公社債等の短期有価証券を主要投資対象とし、米国の株価指数を対象とした先物取引（「米国の株価指数先物取引」といいます。）を主要取引対象とします。

【米国国債4倍ブル9】【米国国債4倍ベア9】
円建ての短期公社債等の短期有価証券を主要投資対象とし、米国国債を対象とした先物取引（「米国国債先物取引」といいます。）を主要取引対象とします。

【円安ドル高トレンド9】【円高ドル安トレンド9】
円建ての短期公社債等の短期有価証券を主要投資対象とし、選択権付き為替予約取引を主要取引対象とします。

【マネー ポートフォリオ9】
円建ての公社債等を主要投資対象とします。

米国株スーパーブル9	米国の株価指数先物取引を積極的に活用し、日々の基準価額の値動きが米国の株式市場全体の日々の値動きの概ね2倍程度となる投資成果を目指して運用を行ないます。	米国株スーパーベア9	米国の株価指数先物取引を積極的に活用し、日々の基準価額の値動きが米国の株式市場全体の日々の値動きの概ね2倍程度反対となる投資成果を目指して運用を行ないます。
米国国債4倍ブル9	米国国債先物取引を積極的に活用し、日々の基準価額の値動きが米国の長期国債市場の日々の値動きの概ね4倍程度となる投資成果を目指して運用を行ないます。	米国国債4倍ベア9	米国国債先物取引を積極的に活用し、日々の基準価額の値動きが米国の長期国債市場の日々の値動きの概ね4倍程度反対となる投資成果を目指して運用を行ないます。
円安ドル高トレンド9	選択権付き為替予約取引を積極的に活用し、日々の基準価額の値動きが円から見た米国ドルの日々の値動きの概ね2倍程度となる投資成果を目指して運用を行ないます。	円高ドル安トレンド9	選択権付き為替予約取引を積極的に活用し、日々の基準価額の値動きが円から見た米国ドルの日々の値動きの概ね2倍程度反対となる投資成果を目指して運用を行ないます。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

【お申込メモ】

●信託期間	2026年1月16日まで（2022年12月15日設定）
●決算日および収益分配	年1回の決算時（原則1月16日。休業日の場合は翌営業日）に分配の方針に基づき分配します。
●ご購入価額	〈別表〉参照
●ご購入単位	1口以上で販売会社が定める単位（当初元本1口＝1万円）
●ご換金価額	〈別表〉参照
●スイッチング	「野村ブル・ベア セレクト9」を構成するファンドを3つのグループに分けた同一グループ内のファンド間、および各グループ内のファンドと「マネー ポートフォリオ9」の間で、スイッチングが可能です。 ※販売会社によっては、一部または全部のスイッチングのお取扱いを行なわない場合があります。
●お申込不可日	「米国株スーパーブル9」「米国株スーパーベア9」「米国国債4倍ブル9」「米国国債4倍ベア9」は、販売会社の営業日であっても、下記のいずれかの場合には、原則、ご購入、ご換金、スイッチングの各お申込みができません。 ・申込日当日が、ニューヨーク証券取引所の休業日の場合 ・申込日当日が、「日本が休業日かつニューヨーク証券取引所が休業でない日」の前営業日の場合
●購入・換金申込受付の中止及び取消し	特別な事情が発生した場合ならびに、金融商品取引所等における取引の停止等、その他やむを得ない事情があるときは、ご購入、ご換金、スイッチングの各お申込みの受付を中止すること、および既に受付けたご購入、ご換金、スイッチングの各お申込みの受付を取消すことがあります。
●課税関係	個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時（スイッチングを含む）および償還時の譲渡益に対して課税されます。ファンドはNISA（少額投資非課税制度）の対象ではありません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

【当ファンドに係る費用】

◆ご購入時手数料	ご購入価額に2.2%（税抜2.0%）以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 ＜スイッチング時＞ 販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 なお、「マネー ポートフォリオ9」へのスイッチングの場合は無手数料 ＊詳しくは販売会社にご確認ください。
◆運用管理費用（信託報酬）	各ファンドの純資産総額に以下の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。

ファンド名	信託報酬率
「円安ドル高トレンド9」「円高ドル安トレンド9」	年1.122%（税抜年1.02%）
「米国株スーパーブル9」「米国株スーパーベア9」「米国国債4倍ブル9」「米国国債4倍ベア9」	年1.155%（税抜年1.05%）
「マネー ポートフォリオ9」	年0.605%（税抜年0.55%）以内（2025年3月末現在、年0.33%（税抜年0.30%））

◆その他の費用・手数料	組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、外貨建資産の保管等に要する費用（「マネー ポートフォリオ9」を除く）、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額（ご換金時、スイッチングを含む）	ありません。

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。
※詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

〈別表〉

ファンド名	円安ドル高トレンド9 円高ドル安トレンド9	米国株スーパーブル9 米国株スーパーベア9	米国国債4倍ブル9 米国国債4倍ベア9	マネー ポートフォリオ9
ご購入価額	ご購入申込日の基準価額	ご購入申込日の翌営業日の基準価額		※
ご換金価額	ご換金申込日の基準価額	ご換金申込日の翌営業日の基準価額		ご換金申込日の基準価額

※「マネー ポートフォリオ9」は、他のファンドからのスイッチング以外によるご購入はできません。
・「円安ドル高トレンド9」「円高ドル安トレンド9」からのスイッチングは、ご購入申込日の基準価額
・「米国株スーパーブル9」「米国株スーパーベア9」「米国国債4倍ブル9」「米国国債4倍ベア9」からのスイッチングは、ご購入申込日の翌営業日の基準価額

＊2026年1月7日以降は、ご購入およびスイッチングのお申込みはできません。
＊販売会社によっては、一部のファンドのみのお取扱いとなる場合があります。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します（外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。）ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は　野村アセットマネジメント

商号　野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第373号
一般社団法人投資信託協会会員／一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

投資リスク

各ファンド（「マネー ポートフォリオ9」を除く」）は、株価指数先物取引、債券先物取引、為替予約取引等を活用しますので、株価変動、金利変動、為替変動等の影響により、基準価額が下落することがあります。
「マネー ポートフォリオ9」は、債券等を投資対象としますので、金利変動等による組入債券の価格下落や、組入債券の発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。
したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。
※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。

《基準価額の変動要因》

【米国株スーパーブル9】【米国株スーパーベア9】
株価変動リスク・・・ ファンドは株価指数先物取引を積極的に活用しますので、株価変動の影響を受けます。
為替変動リスク・・・ ファンドは、組入外貨建資産について、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを基本としますが、為替変動リスクを完全に排除できるわけではありません。

【米国国債4倍ブル9】【米国国債4倍ベア9】
債券価格変動リスク・・・ 債券（公社債等）は、市場金利や信用度の変動により価格が変動します。ファンドは米国国債先物取引を積極的に活用しますので、これらの影響を受けます。
為替変動リスク・・・ ファンドは、組入外貨建資産について、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを基本としますが、為替変動リスクを完全に排除できるわけではありません。

【円安ドル高トレンド9】【円高ドル安トレンド9】
為替変動リスク・・・ ファンドは選択権付き為替予約取引を積極的に活用しますので、為替変動の影響を受けます。また、円金利が対象通貨の金利より低い場合、その金利差相当分が、「円安ファンド」では基準価額の上昇要因に、「円高ファンド」では下落要因になります。（「対象通貨の金利＜日本円の金利」の局面においては、逆の要因になります。）

【マネー ポートフォリオ9】
債券価格変動リスク・・・ 債券（公社債等）は、市場金利や信用度の変動により価格が変動します。ファンドは債券に投資を行ないますので、これらの影響を受けます。

＊基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。

《その他の留意点》

●ファンドは、主に以下の要因等により、目標とする投資成果が達成できない場合があります。
◆各ファンド（「マネー ポートフォリオ9」を除く）
・日々の設定・解約等に対応するために行なった株価指数先物取引、米国国債先物取引、選択権付き為替予約取引の約定値段と、当該日の評価値段の差が生じる場合
・市場の大幅な変動や流動性の低下等により、株価指数先物取引、米国国債先物取引、選択権付き為替予約取引が成立せず、または、必要な取引数量のうち全部または一部が成立しない場合
・取引を行なう先物市場や為替市場において取引規制が行なわれた場合
・運用資金が少額、または、設定・解約などにより大幅な増減があった場合
◆米国株スーパーブル9、米国株スーパーベア9
・株価指数先物取引の値動きと株式市場全体の値動きが一致しない場合
・株価指数先物取引の証拠金の差し入れ比率が一定水準以上に引上げられた場合
・株価指数先物取引のロールオーバー（短い限月の取引を決済し、より長い限月の取引へ乗換える）時に発生する売買手数料等のコスト負担や限月間の価格差（スプレッド）による影響がある場合
・為替変動により、株価指数先物取引の買建てあるいは売建ての額を円に換算した額が、目標としている額から乖離する場合
◆米国国債4倍ブル9、米国国債4倍ベア9
・米国国債先物取引の値動きと米国の長期国債市場の値動きが一致しない場合
・米国国債先物取引の証拠金の差し入れ比率が一定水準以上に引上げられた場合
・米国国債先物取引のロールオーバー（短い限月の取引を決済し、より長い限月の取引へ乗換える）時に発生する売買手数料等のコスト負担や限月間の価格差（スプレッド）による影響がある場合
・為替変動により、米国国債先物取引の買建てあるいは売建ての額を円に換算した額が、目標としている額から乖離する場合
◆円安ドル高トレンド9、円高ドル安トレンド9
・選択権付き為替予約取引の値動きと円から見た対象通貨の値動きが一致しない場合

●ファンドの信託期間は、2026年1月16日までとなっております。
原則として基準価額水準のいかんにかかわらず、同日をもって信託期間終了、償還となりますので、十分ご留意の上お申込みください。
●マネー ポートフォリオ9は、マイナス利回りの資産への投資等を通じてファンド全体の損益がマイナスとなった場合は、ファンドの基準価額が下落することが想定されますのでご留意ください。
●各ファンド（「マネー ポートフォリオ9」を除く）は、日本の連休中に市場の大幅な変動があった場合、各ファンドで信託財産の保全を目的とした運用を行なう場合があります。その結果、目標とする投資成果が達成できない場合があります。

≪分配金に関する留意点≫
●分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。
●ファンドは、計算期間中に発生した運用収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。
●投資者の個別元本（追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本）の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

ファンドの販売会社、基準価額等については、下記の照会先までお問い合わせください。
野村アセットマネジメント株式会社
☆サポートダイヤル☆　0120-753104（フリーダイヤル）
＜受付時間＞営業日の午前9時～午後5時
☆インターネットホームページ☆　https://www.nomura-am.co.jp/

＜委託会社＞　野村アセットマネジメント株式会社
［ファンドの運用の指図を行なう者］
＜受託会社＞　三菱UFJ信託銀行株式会社
［ファンドの財産の保管および管理を行なう者］

ファンドは、値動きのある証券等に投資します（外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。）ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は　野村アセットマネジメント
商号　野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第373号
一般社団法人投資信託協会会員／一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

野村ブル・ベア セレクト9

お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
安藤証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第1号	○			
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第44号	○		○	○
岡三証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第53号	○	○	○	○
香川証券株式会社	金融商品取引業者	四国財務局長（金商）第3号	○			
極東証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第65号	○			○
岩井コスモ証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長（金商）第15号	○	○	○	
十六TT証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第188号	○			
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第140号	○	○	○	○
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第165号	○	○	○	○
野村證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第142号	○	○	○	○

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。
※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。

野村ブル・ベア セレクト9

以下は、取次販売会社または金融商品仲介による販売会社です。
お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社イオン銀行 (委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第633号	○			
株式会社SBI新生銀行 (委託金融商品取引業者 株式会社SBI証券)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	○		○	
株式会社SBI新生銀行 (委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	○		○	

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。
※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。